

県民の森だより

紙上ギャラリー

県民の森に生育する植物を描いた大和敬子さんの植物画と文を掲載します。彩色・A4版の作品です。



伊豆半島を除く全国の山地に分布するそうで、県民の森やその周辺でもよく見かける。実を包む筒状の皮が細く長く伸びる姿を角に見立ててこの名がついたという。実は熟すと生で食べられる。ブナの実よりコクと歯ごたえがあり、和のナッツといったところかと思っていたらヘーゼルナッツの仲間だそうである。

花芽は秋から現れる。雄花は3cm程の褐色の穂で直立してつき、雌花は数個集まって芽鱗に包まれ、雄花より高い所につく。

春四月、葉の出る前に開花。雄花は10cm以上に伸びて垂れ下がり、風に揺られて黄色い花粉を散らす。そして雌花。芽鱗の中から多数の雌しべの先を現わすだけだが、これが何と、鮮やかな真紅なのである。まだ枯れ姿の枝に咲く深紅色の花は一度見たら忘れられない。が、風媒花なら鳥や虫を誘う装いは不要の筈なのに、他の風媒花のカツラ・ブナ・オニグルミも触手のような真紅の柱頭をチロチロ覗かせている。なぜ赤なのであるのか……。

ツノハシバミの実は一cm余りで頭が少し尖る。幼い頃食べた「ハシバミ」の実は、まんまるだった。角のような皮の記憶もない。今思えばあれは「ハシバミ」であっらしい。

最近、若い女性が「ハシバミ」と言うのを聞いた。ふしぎな優しさに包まれた気がした。懐かしさのせいもあつたかもしれない。

これからツノハシバミと言おうかな、と、ふっと思った。

岩手県 県民の森管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・0195-78-2092

FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

E-mail forest@kenminnomori.com



Access アクセス

開館時間 9:00~16:00
 休館日 毎週火曜日 (ただし、祝祭日の場合は翌日)
 駐車場 第1駐車場 20台 (身障者、大型用駐車場あり) 第2駐車場 約50台

県民の森ガイド みはらし広場



駐車場から広場を見下ろす 10月



広場でスノーシュー体験



広場の下から見る岩手山

七滝登山口から見下ろす一帯が、みはらし広場。全方向の円形案内板があった展望台は、老朽化のため撤去されました。

登山口の駐車場は、北上山地や北上川流域の農村地帯を見渡せる場所です。



撤去される展望舎



キハダの実

草原には、雪が消えると真っ先にフキノトウが出てきます。スミレが咲き、レンゲツツジが咲いてワラビが生える頃は、木々の花も咲き春の盛りを迎えます。

みはらし広場の下の方から見上げる残雪の岩手山は、薬師岳が美しく見えるスポット。広場中程の大きな樹木はキハダ。今は緑色から黒くなった実が沢山ついています。実をかじると生薬だけに、納得の苦さでした。

2月、雪が締まると七滝の氷瀑ツアーが始まります。深い雪をラッセルして道を作りながら歩くツアー。往復一列で、前の人のお尻をひたすら歩きます。登山口に戻って来ると、みはらし広場。ここからは自由に。広場を走って降りる人、深みにはまって騒いでいる人、賑やかに解放感溢れるフィナーレの場所です。

ベランダの野鳥 ~まだまだ暖かい~

今年ベランダの野鳥は、よそよそしい感じです。

餌の切実感が、未だないのかも知れません。

アカゲラが全く姿を見せていませんし、ヒマワリを完食せず、毎日ちょっとだけ残しています。

いつもの曲がり角で、若いヤマドリ雌と出会いました。彼女は、車がすぐ側を走っても慌てず、離れ飼いの鶏みたいな態度でした。

坂を降りると葦沼に真っ白い鳥、ダイサギです。車をバックさせると飛び立ち、沼の上を旋回し始めたので、邪魔をしないことにしました。

翌日、金沢清水を汲んでいると「ギャオ ギャオ」と大きな声が聞こえました。間もなく建物の裏から鳥影が現れて、悠然と鳴きながら低く飛んでいるのはアオサギです。間近に聞くその声、優雅な姿から想像出来ないような悪声でした。

11月下旬なのに小春日和。夕方、上り坂でためのタヌキが、お尻を振りながら車の前を横切りました。

動物達の様子は、のんびりムードです。

晩秋の森 ~落葉を踏んで~

森は今、ひとり歩きが楽しい時期。落葉に埋めつくされた道、木々の間から見える空。裸木と青空のコントラストが美しい。

岩手山七滝登山口付近は、ミズナラの多い広葉樹の森。昭和40年代に設置された、元オリエンテーリングのコースを辿っていると、広い道を賑やかに歩く大勢の音が聞こえるような錯覚を覚えた。

3年ほど前に倒れたウダイカンバの大木。樹皮が剥がれ落ち、根元に沢山のキノコが生えている。森の中では無駄のない自然の営みが続く。



前月行事から

森林整備友の会

11月7日(日)いわて森林再生研究会から講師3名を迎え、森林整備作業の講習会を行いました。参加者13名(女性4名)チェーンソーの目立てと実技に挑戦です。

安全講習に始まり、チェーンソーの仕組みを学んだ後、二人一組で目立ての実習。ヤスリの持ち方が結果に影響することを覚えました。試し切りをしてビフォー・アフターの切れ味を実感。

午後からチェーンソーの扱い方・キックバック等注意事項の説明があり、横一列に並んで正しい持ち方・作業姿勢の指導後、個別にチェックを受けました。

最後の実習は、「横に置いた丸太切り」と「立っている丸太の横引き」です。受け口づくりまで進んだグループもありました。正しく学べば、女性でも扱えることを体験した講習会でした。

チェーンソーの扱い方講習



目立て実習



受け口作り



基本姿勢の指導

リース作り

リース完成



11月14日(日)工房寿限無・田中潔講師による「アケビのつるリース作り」は、お馴染みの顔ぶれ。輪は永遠を表すシンボルであり、西洋では赤い色を魔よけとして使うこと等リースの由来や、また、飾るパーツを替えて、年中楽しめるとのことのお話も伺いました。

好きな大きさのリースを選び、イメージを描いて自然素材のパーツを接着剤で貼付します。50種類もある豊富な素材、今年の新顔はヒオウギの実・バラの実・クルミ・炭化したトチの実など。

夢中になった2時間、みんなが自慢のリースを完成させました。

床暖房の学習館へいらっしゃい!

学習館は、12月からチップボイラーの床暖房になります。暖かい館内で、週末や冬休みをゆっくり過ごして頂けるよう、楽しい企画を用意しました。

木製玩具で遊ぶキッズコーナー ... 幼児対象

日時：土日祝日 9:00~16:00 場所：多目的ホール

ミニシアター

日時：水木金曜日 10:00~11:00 場所：多目的ホール

上映メニュー：・松尾鉦山行事アラカルト ・暮らしと林業 ・八幡平賛歌・雪の章 他

冬休み工作教室 ... 学童対象

日時：12月25日~1月20日 10:00~15:00 場所：学習館工作コーナー

毎週火曜日・12月28日~1月4日・行事開催日はお休みします。



キッズコーナー

県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

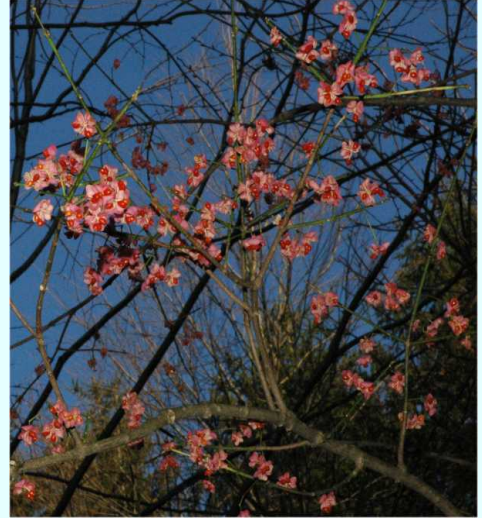
「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品です。今月は、はりえんじゅ（まめ科）です。



初冬のフィールドから



フユノハナワラビ
(ハナヤスリ科)



マユミ →
(ニシキギ科)



コマユミ →
(ニシキギ科)



ツルシキミ
(ミカン科)

11月25日放射冷却

で冷え込んだ朝、カラマツ見本林の近くで霜柱を見つけました。 →

希樹園では、岩に生えたスギゴケに霜の花が咲いたみたいでした。



今年初の霜柱



ツルリンドウ
(リンドウ科) →



ユキツバキ
(ツバキ科)